

施策番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
基本方針	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
施策	情報提供の充実	情報提供の充実	情報提供の充実	情報提供の充実	環境学習の推進	環境学習の推進	環境学習の推進	環境学習の推進	環境学習の推進	環境学習の推進	環境学習の推進	環境学習の推進	地域全体の環境美化の推進	地域全体の環境美化の推進	地域全体の環境美化の推進
取り組みの内容	分かりやすい情報発信	分かりやすい情報発信	分かりやすい情報発信	多様な媒体での情報発信	ごみの減量・資源化につながる環境学習の推進	ごみの減量・資源化につながる環境学習の推進	子ども向け環境学習の充実	子ども向け環境学習の充実	若年層への啓発	ごみ施設見学会の開催	環境教育に活用できるコンテンツの充実	不法投棄防止活動の推進	不法投棄防止活動の推進	530推進員の育成	
具体策	家庭ごみの出し方・リサちゃんだより	ごみ分別アプリさんあ～る	りさちゃんだよりプラス	HP・デジタルサイネージ・SNS	ごみ出し説明会出前講座	ごみ出し説明会出前講座	出前授業	子ども向けの啓発	中高生 大学生への啓発	施設見学会の開催	コンテンツの作成・公開	不法投棄防止パトロールなど	不法投棄防止パトロールなど	530推進員の育成	
担当課	クリーン推進課	クリーン推進課	資源循環課	クリーン推進課	クリーン推進課	資源循環課	クリーン推進課	資源循環課	資源循環課	資源循環課	資源循環課	クリーン推進課	廃棄物指導課	クリーン推進課	
令和4年度	計画	発行部数: 290,000部	新規ダウンロード数: 10,000件	発行部数 7月号 2,300部 10月号 2,300部 1月号 2,300部	令和3年度の実績に加え、船橋駅前歩道橋やマンションデジタルサイネージ等でもごみの分別・資源化などに係る情報を発信。	ごみ出し説明会(出前講座等含む): 60回	出前講座: 6回	授業補助: 15校 授業補助: 10校	・夏休み親子見学会の開催 参加定員数: 午前・午後 各5組 ・子ども向けホームページの充実	・大学とごみの減量に関する事業を検討。 ・中学生向けの授業で活用できるようなパワーポイント資料の作成。	・北部清掃工場 100団体 2500人 ・南部清掃工場 35団体 1000人 ・西浦資源リサイクル施設 10団体 100人	・小学生向けの授業で活用できるようなパワーポイント資料の作成。 ・Youtubeの動画を公開。	職員によるパトロール: 90回	職員による日常パトロール: 244回 夜間休日等委託パトロール: 50回	地区別推進員研修会: 24回
	内容	・より多くの市民にごみの排出方法やごみに関する情報を周知できる冊子を発行する。 ・ごみの分別や出し方について、より見やすくなるよう紙面の構成等を見直す。	・環境に関する情報等を発信する。 ・市公式ツイッターやデジタルサイネージなど様々な媒体を使用して新規ダウンロード数の増加に努める。	・ごみ減量及び資源化の啓発紙として、市民に必要な情報を掲載し、発行する。 ・市ホームページ、ごみ分別アプリ「さんあ～る」等も活用して情報発信を行う。 ・大人向けに作成しているが、子どもが見て分かりやすい記事も1つ以上掲載する。	市ホームページ・ごみ分別アプリ「さんあ～る」・ふなばし情報メール・電光掲示板・市公式ツイッター等に追加、新たに複数のデジタルサイネージも活用して情報発信を行う。	町会・自治会やPTA等を対象として、ごみの分別等を啓発しているが、1人でも多くの方々に受講していただくよう、事業の周知に努める。	出前講座「ごみ」の減量と資源化を実施し、ごみの減量方法を周知啓発する。	・小学校4年生の社会科の授業補助として、塵芥収集車を活用し、ごみの分別等を啓発し、1人でも多くの児童に受講していただくよう、事業の周知に努める。 ・小学4年生を対象に社会科の授業補助として、ごみ処理の流れやごみ減量への取り組みを時事問題などと掛け合わせて啓発していく。	・夏休み親子見学会を開催する。 ・子どもたちの興味がある有価物や食品ロスのページの充実を図る。	・若年層の意識向上のため大学と連携し、取り組みを検討する。 ・中学校の授業で活用できるような資料を作成し、提供する。	小学4年生の社会科見学や親子見学会、出前講座等を通じて、清掃工場等の見学会を開催する。	・小学校の授業で活用できるような資料を作成し、提供する。 ・啓発動画については、作成方法から学ぶ必要があるため、少なくとも1本の動画公開を行う。	・各地区において不法投棄が多い場所を中心に環境指導員がパトロールを行い、廃棄物を捨てられない環境づくりに努める。 ・地域と連携した取組みの構築にも努める。	・定期的な日常パトロールのほか、年末パトロールを実施する ・夜間・休日等のパトロールを警備会社へ委託し、監視体制の充実を図る。	・全24地区での開催を目指す。 ・アンケート調査等により、530推進員の役割を明確化するとともに各地区の適正な人数を把握し、現行の制度を見直しを検討する。

令和4年度	実績	発行部数: 290,000部	7,583件	発行部数 7月号: 2,300部 10月号: 2,300部 1月号: 2,300部	公式Twitter(13回)やデジタルサイネージ(3回)などを利用し、ごみの分別・資源化等に係る情報発信を行った。	ごみ出し説明会(出前講座等含む): 40回	出前講座: 5回	授業補助: 17校 授業補助: 10校	・夏休み親子見学会 午前: 3組(2組キャンセル) 午後: 4組(1組キャンセル) ・子ども向け食品ロス削減動画を作成した。	・大学とごみの減量に関する事業を検討した。 ・中学生向けのパワーポイント資料を作成した。	・北部清掃工場: 110団体 3189人 ・南部清掃工場: 50団体 1378人 夜間見学ツアー 6人 ・西浦資源リサイクル施設: 11団体 185人	・小学校授業補助資料の更新 ・Youtube動画を掲載	クリーン推進課職員によるパトロール実施: 90回	職員による日常パトロール: 244回 夜間休日等委託パトロール: 50回	地区別推進員研修会: 2回
		内容	・「家庭ごみの出し方・リサちゃんだより」を290,000部発行した。 ・発火などの事故の原因となるボタン電池・コイン電池の正しい出し方の記事やペットボトル収集用あみ袋に出されることが多いブラマーク商品の正しい出し方のイラストなどを追加した。	市公式Twitterやデジタルサイネージなどを活用して周知に努めたが、新規ダウンロード数が7,583件であった。ダウンロード数の増加を図るため、令和5年度版の家庭ごみの出し方・リサちゃんだよりの表表紙に青売りの記事を掲載したほか、自治会連合協議会の常任理事会にてアプリを紹介するとともに、町会・自治会の掲示板にアプリのチラシの掲示を依頼した。	・ごみ減量及び資源化の啓発紙「リサちゃんだよりプラス」を7,10,1月に発行した。 ・市ホームページ、ごみ分別アプリ「さんあ～る」等も活用して情報発信を行った。 ・7月号は小学生向け夏休み特別号として雑がみ分別について特集し、市内の55か所の小学校の全クラスに掲示した。 10月号は主に食品ロス削減に関する特集号を発行した。 1月号は、主に間違えやすい電池の分別についての特集号を発行した。	広報ふなばし、環境新聞「エコふなばし」、市ホームページ、ごみ分別アプリ「さんあ～る」、家庭ごみの出し方・リサちゃんだより、リサちゃんだよりプラス、JR船橋駅前電光掲示板に加え、デジタルサイネージや市公式Twitterなど活用してごみの減量・資源化等に係る情報発信を行った。	クリーン推進課の環境指導員による「ごみ出し説明会」を40回開催した。	実施した5件のうち2件は、新たな取り組みとしてオンラインを活用した講座とした。	市立小学校(17校)に職員を派遣し、環境学習の一環として、ごみ収集体験の手伝いや船橋市のごみ事情などについて説明をした。(クリーン推進課) ・小学4年生を対象に社会科の授業補助として、分別の〇×クイズ、灰の運搬、3Rについて、ごみの減量についてできること項目ごとに資料により授業補助を行った。(資源循環課)	夏休み親子見学会は、34組から申込があり抽選となった。コロナの影響もあり、午前午後ともにキャンセルが発生した。 食品ロスについては、食品ロス削減動画を作成し、「3Rすずめ隊」が説明する食品ロス削減に関する動画を作成し、船橋市公式YouTubeへ掲載し、子ども向けの啓発を行った。	千葉大学、東邦大学と連携できそうな取り組みがあるかヒアリングを行った。 ・中学生向けのパワーポイント資料を作成し、授業補助にて活用した。	小学4年生の社会科見学や親子見学会、出前講座等を通じて、清掃工場等の見学会を開催した。	・クイズ等の学習資料として利用できる授業補助資料を作成。 ・食品ロス削減動画をYouTubeへ掲載するなどHPやオンライン媒体での周知を実施した。	各地区において不法投棄が多い場所を中心に環境指導員がパトロール(年間90回)を行い、廃棄物を捨てられない環境づくりに努めた。	不法投棄のパトロールを平日の日中に加え年末にも実施した。夜間・休日等のパトロールを警備会社へ委託し、監視体制の充実を図った。また、12月からLINEによる通報システムを導入し、監視体制の充実を図った。
施策の評価	※1～5を記入	1. 予定(計画)どおり進んでいる	2. 概ね予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる	2. 概ね予定(計画)どおり進んでいる	2. 概ね予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる	3. あまり予定(計画)どおり進んでいない

評価	数値目標がある取り組み(数値達成率)	進捗状況
1	100%以上	1. 予定(計画)どおり進んでいる
2	80%以上100%未満	2. 概ね予定(計画)どおり進んでいる
3	60%以上80%未満	3. あまり予定(計画)どおり進んでいない
4	60%未満	4. 予定(計画)どおり進んでいない
5	評価対象外	5. 対象外

施策番号	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
基本方針	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
施策	地域全体の環境美化の推進	優良事業者の育成	優良事業者の育成	市民サービスの向上	市民サービスの向上	市民サービスの向上	発生抑制行動の推進	発生抑制行動の推進	家庭系ごみの分別の推進	家庭系ごみの分別の推進	家庭系ごみの分別の推進	事業系ごみの適正排出と分別の推進	事業系ごみの適正排出と分別の推進	事業系ごみの適正排出と分別の推進
取り組みの内容	地域清掃活動の推進	ごみの減量及び資源化連携事業者認定制度の充実	事業系一般廃棄物収集運搬業者の育成	ごみ出しが困難な方への支援	ごみ出しが困難な方への支援	粗大ごみ受付システムの検討	リデュース(発生抑制)行動の推奨	リユース(再利用)の推奨	ごみ組成調査の実施	資源化できる紙類の分別	新たな分別と資源化の検討	事業系一般廃棄物の適正排出及び分別指導の徹底	事業系一般廃棄物の適正排出及び分別指導の徹底	事業系一般廃棄物の適正排出及び分別指導の徹底
具体策	地域清掃活動の推進	ごみの減量及び資源化連携事業者認定制度の充実	事業系一般廃棄物収集運搬業者の育成	クリーンサポート収集	ふれあい収集	インターネット受付の導入等	・詰め替え商品の推奨・マイバック、マイボトル運動・てまえどり	リユースショップの利用	ごみ組成調査の実施	資源化できる紙類の分別	新たな分別と資源化の検討	事業系一般廃棄物の適正排出及び分別指導の徹底	事業系一般廃棄物の適正排出及び分別指導の徹底	事業系一般廃棄物の適正排出及び分別指導の徹底
担当課	クリーン推進課	廃棄物指導課	廃棄物指導課	クリーン推進課	資源循環課	クリーン推進課	資源循環課	資源循環課	資源循環課	資源循環課	資源循環課	廃棄物指導課	廃棄物指導課	廃棄物指導課
令和4年度	計画	クリーン船橋530の日:8,500人 船橋をきれいにきれいにする日:8,300人	ふなR連携事業者の増加。 ・リデュース・リユース 1件 ・食品ロスの削減 20件 ・店頭回収 2件 ・模範的な3Rの実践 2件	事業系ごみの適正処理や資源化を推進するため、事業系一般廃棄物の分別・減量について事業系一般廃棄物収集運搬業者に周知し、事業系ごみ収集運搬業者を育成。	クリーンサポート収集:2,760回	引き続き事業の周知に努め、安定したサービスを提供 利用世帯数:350世帯	粗大ごみ収集申し込みに係る利便性の向上を図るため、24時間受付対応やスムーズな情報入力が可能となるインターネット受付の導入等、粗大ごみ受付システムの検討	・環境フェアでのマイバック作り ・イベント等での啓発物配布 ・啓発紙等での記事掲載 ・指定ごみ袋のデザイン変更	・フリマアプリを活用したリユースについて情報発信 ・「資源物とごみの分別ガイド」にて情報発信	ごみ組成調査の実施 2回(夏期・秋期)	・小学4年生に対し雑がみ保管袋の配布 ・各種啓発物に、引き続き雑がみの分別方法を掲載	二次電池の分別と資源化の検討し、令和5年度からの実施を目指す。	・大規模事業所の取組状況確認 45事業所 ・紹介可能な良好事例の共有化	・食品営業許可新規講習会時の啓発:12回 ・食品衛生責任者実務講習会時の啓発:12回
	内容	・市内一斉清掃事業の参加者数の増加を目指す。 ・アンケート調査等により、「クリーン船橋530の日」の今後の進め方について検討する。	・リデュース・リユースの推進、食品ロスの削減、店頭回収、模範的な3Rの実践に取り組んでいる事業者の認定をする。 ・認定事業者から提出された報告書を元に模範的な取り組みに関してはホームページ等で周知・啓発を行う。 ・制度上の改善点を洗い出し、さらなる認定事業者の充実を図る。	・排出事業者や船橋市一般廃棄物協同組合へ先進的なごみ減量の取り組み事例等を紹介する。 ・排出事業者のごみ出しの現状について収集運搬業者へヒアリングを行い、模範的な取り組みについて取りまとめた上で、収集運搬業者を通して他の排出事業者へ周知する。	・高齢者(65歳以上)、障害者世帯等で、粗大ごみの運び出しが困難な場合、屋内より持ち出し収集を行う。 ・対応職員の高齢化(平均年齢約54歳)などを考慮し、委託化を検討する。	自らごみ収集ステーションに日常的なごみを出すことが困難であり、他の者からの協力を得られない高齢者等に対し、ごみの戸別収集を行う。	システム導入に向け、他市状況等を調査し、効果的なシステム運用を目指し、準備を進める。	・環境フェアにてエコバッグづくりを開催し、レジ袋の削減の啓発を行う。 ・イベント等でマルシェバッグやカラリーセット(啓発物品)を配布し、使い捨てプラスチック(フンウェイプラスチック)の削減を啓発する。 ・転入者向けに作成する「資源物とごみの分別ガイド」に記事を掲載し、啓発を行う。 ・指定ごみ袋のデザイン性を向上させることによりレジ袋の発生抑制を図る。	・ふなRで認定しているリユースショップおよび、フリマアプリについて、関係各課と連携し、各媒体で情報の発信を行う。 ・転入者向けに作成する「資源物とごみの分別ガイド」に記事を掲載し、啓発を行う。	・家庭系一般廃棄物(10地区)を夏季・秋季に、事業系一般廃棄物(9事業所)を秋季に実施する。 ・調査結果を分析し、ごみ減量施策の検討材料とする。	・雑がみ保管袋について、ごみの学習が開始する小学4年生向けに配布を行う。 ・転入者向けに作成する「資源物とごみの分別ガイド」に記事を掲載し、啓発を行う。	処理方法、分別した場合のオペレーション等を施設と調整し、分別の検討を行う。	・大規模事業所のごみの分別や保管状況、減量に向けた具体的取り組みなどを記載したパンフレットを作成し、関係各課、市内企業団体、商店街等と連携し、パンフレット配布や情報提供のメール送信、SNS等を用いた情報発信などにより、市内事業者に啓発を行う。	保健所が開催する食品関係事業者を対象とした講習会にてごみの適正排出について啓発を行う。

令和4年度	実績	・クリーン船橋530の日:5,222人 ・船橋をきれいにきれいにする日:4,591人	・ふなR連携事業制度における新規認定件数:0件	・排出事業者のごみ出しの現状について収集運搬業者20社へアンケートを実施。 ・収集運搬業者5社を対象として従業員に対するヒアリングを実施。	2,494件	利用世帯数:370世帯	調査対象市:18市	・環境フェアにてエコバッグづくりを開催し、104人が参加した。 ・環境フェアにて啓発物品の配布と啓発ポスター掲示を行った。 ・資源物とごみの分別ガイドを発行した。 ・7月に指定ごみ袋のデザインを変更した。	・メルカリをホームページで紹介した ・資源物とごみ分別ガイドの記事を一部編纂を行い、作成を行っている。	・家庭系一般廃棄物(10地区)を夏季・秋季に、事業系一般廃棄物(9事業所)を秋季に実施した。	・小学4年生に対し雑がみ保管袋を配布した。 ・啓発物に雑がみの分別方法を掲載することで啓発を行った。	取り外しできない電池使用製品の分別回収について検討を実施	・大規模事業所の取組状況確認:45事業所	・事業系一般廃棄物の適正処理や減量に関するパンフレットの作成及び周知	・食品営業許可新規講習会時の啓発:4回 ・食品衛生責任者実務講習会時の啓発:7回
	内容	クリーン船橋530の日参加者数:約5,300人 船橋をきれいにきれいにする参加者数:約4,600人 両事業で中央会場せしモニーを開催し、市民や事業者等との連携し、清掃活動を実施した。	令和4年度はふなR連携事業者認定制度の見直しを重点的に実施した。 事業者に対し制度に関するヒアリングを行い、申請書の1本化、オンライン申請の導入、事業者の取組みにかかる報告書の廃止の内容を盛り込んだ要綱改正を実施した。 令和5年度事業者への制度周知を行うと同時に引き続き事業者へのヒアリングを継続して実施し、よりよい制度設計を行う。	令和4年10月に事業系ごみの収集を行っている事業者を対象にアンケートを実施した。 その中から契約事業者数の多い5社を選定し、令和5年2月及び翌3月に対面によるヒアリングを行った。 令和5年3月現在、アンケート及びヒアリングの結果を取りまとめ中であり、周知資料の作成、収集運搬業者及び排出事業者への周知は令和5年度中に行う予定である。	粗大ごみの運び出しが困難な高齢者(65歳以上)、障害者世帯等の屋内から持ち出し収集を行った。 実績:2,494件	自らごみ収集ステーションに日常的なごみを出すことが困難であり、他の者からの協力を得られない高齢者等に対し、ごみの戸別収集を行った。 効率的な収集ができるよう、GISに情報を入力し活用した。 リサちゃんだよりプラスに市の取組みのひとつとして事業周知を行った。	近隣市や中核市でインターネット受付を導入している18市に対し、申請方法別の受付件数・オペレーター人数・導入費用等を調査した。 また、関係課と導入方法等について協議を進めた。	・環境フェアにてエコバッグ作りを通じてレジ袋削減の啓発を行った。 ・環境フェアにて啓発物品(カラリーセット)の配布と食品ロスの啓発を行った。 ・ごみ分別ガイドにて、ごみを減らそうチャレンジ7の取り組みを記載し、リデュースについて啓発を行った。 ・指定ごみ袋のデザインをレジ袋として使用しやすいデザインへ変更し、小売店へバラ売りの実施を依頼した。	・3R推進に関するホームページを作成し、ふなR認定事業者であるリユースショップの紹介及び連携協定を締結しているメルカリについて紹介し、リユース推進について啓発を行った。 ・ごみ分別ガイドにて、ごみを減らそうチャレンジ7の取り組みを記載し、リユースについて啓発を行った。	・事業系においては今年度は食品ロスにフォーカスを当て、事業所の変更を行った。 ・家庭系は例年と同様のスポットで調査を行った。 ・前年度比較で、手付かず食品が増えているため、削減のための啓発を検討する必要がある。	・小学4年生に向けて、10校で授業補助を実施し、雑がみ保管袋を配布した。 ・リサちゃんだよりプラス7月号にて、雑がみの分別について記事を掲載した。 ・ごみ分別ガイドに雑紙の分別方法を掲載し、啓発と周知を行った。	・収集方法で不燃ごみとして収集した場合のケースを想定し、事業者への売却が可能か、施設での対応が可能かを調査したところ、処理先との調整が必要になったため実施時期を令和6年度に延期した。	市条例に基づく大規模事業所45か所に立入検査を実施し、適正処理の指導を行うとともに減量に関する取組内容のヒアリングを行った。また、パンフレットを用いて減量に関する啓発も併せて実施した。 ヒアリングによって得られた減量の取り組み事例は、汎用的に活用できる内容が精査を行い、今後の啓発に繋げる。	事業系の適正処理や減量を推進するための概要、処理方法、減量手法、メリット、市内事業者の好事例を記載したパンフレットを作成。ホームページやSNSでの発信、市内企業団体や商店街と連携し、パンフレットの配布を行った。 令和5年度も継続して情報発信を行い、市内事業者に啓発を行う。	令和4年度に保健所が開催した食品営業許可新規講習会及び食品衛生責任者実務講習会の全てに参加し、パンフレットを配布して廃棄物の適正処理及び減量について啓発を行った。
施策の評価	※1～5を記入	3. あまり予定(計画)どおり進んでいない	3. あまり予定(計画)どおり進んでいない	2. 概ね予定(計画)どおり進んでいる	2. 概ね予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる	2. 概ね予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる	3. あまり予定(計画)どおり進んでいない	2. 概ね予定(計画)どおり進んでいる	2. 概ね予定(計画)どおり進んでいる	1. 予定(計画)どおり進んでいる

